

サッポロホールディングスが米国ビール会社を買収—格付への影響は限定的

以下は、サッポロホールディングス株式会社（証券コード：2501）が米国のビール会社の買収を発表したことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は本日、米国でビール類製造販売等を行う Stone Brewing Co., LLC（Stone 社）を子会社化することを、取締役会において決議したと発表した。当社の連結子会社である Sapporo U.S.A., Inc.が、Stone Brewing Holdings, LLC（Stone Holdings 社）が 100%出資する Stone 社の持分売買契約を締結し、Stone 社を取得する。取得価額は 168 百万米ドル（Stone 社の業績に応じ Stone Holdings 社に対し追加支払いの可能性あり）で、クロージングの実行は 22 年第 3 四半期中の予定である。なお、Stone 社はビール類製造販売事業・飲食店事業・酒類卸事業を有するが、酒類卸事業は本件の取得対象外となる。
- (2) 当社の国内のビール事業はコロナ禍の影響が残るが、米国では自社ブランドの販売が堅調に推移しており、成長戦略上、今後の伸長に向けた生産拠点の確保が課題となっていた。Stone 社は Stone IPA などのブランドを手掛けるほか、米国東西に 2 工場を有する。本件買収で、当社としては現地マーケットニーズへの対応強化のほか、サプライチェーン効率化による物流コスト削減効果などが見込まれる。Stone 社の近年の業績は営業赤字（酒類卸事業含む）となっているが、当社ブランドの生産は設備稼働率の向上に寄与しよう。一方、21/12 期末で当社の親会社の所有者に帰属する持分は 1,626 億円、ネット DER は 1.1 倍である。買収負担で財務構成はやや悪化すると見られるが、取得価額は過大ではなく、当社信用力への影響は限定的と考えられる。JCR では今後、本件買収のシナジー効果獲得などで、当社の業績回復に弾みがつくか注目していく。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

【参考】

発行体：サッポロホールディングス株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル